

## ぱれっと市生涯学習推進計画（一部抜粋）

### 1 生涯学習の目標

- ① 21世紀の知識社会を意欲と活力をもって生きるために、一人一人が主体的に学ぶ生涯学習社会の整備
- ② 地域の自然を愛し、郷土の文化を創造する知性豊かな人間の育成
- ③ スポーツ・芸術を楽しむ健康で心豊かな人間の形成

### 2 生涯学習施策の方向性

#### （1）生涯学習基盤の整備と見直しについて

（省略）

#### （2）多様な生涯学習が行える環境づくり

##### ①生きがいくりの視点からの環境整備

##### ■生涯学習の基盤整備

##### ○生涯学習推進体制の整備

##### （教育委員会、関係機関の連携）

住民一人一人が生涯にわたって学び続けることができるよう、学習環境や学習支援体制の整備を総合的に推進する。教育委員会を中心に関係機関との連携を高め、住民が「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境づくりに努める。

##### （生涯学習施設、学校のバリアフリー化促進）

生涯学習を行う施設や学校等については、住民が積極的に学習活動を行えるようバリアフリー化を促進する。

##### （生涯学習施設における諸サービスの見直し、向上）

生涯学習施設の利用時間、料金体系を町内で統一的にするとともに、学習の相談・支援などのサービスを向上する。

#### ■学習施設の充実

##### ○公民館等を拠点とした活動の充実

公民館を生涯学習活動の拠点施設と位置づけ、各種講座を開催するとともに、公民館自主事業を企画、実施する。また、住民の自主的な活動グループの育成や支援を行い、団体相互の交流を促進する。

##### ○コミュニティ施設（集会所）の利用促進

公民館や集会所等については、コミュニティ施設と位置づけ、住民の身近な学習活動や交流活動に活用する。

##### ○学校施設の利用促進

学校のグラウンド、体育館、プール等の体育施設については、地域住民が日常的に学習活動を行う場として、学校と連携を図りながら、積極的な活用を促進する。廃校施設については、校舎も含め、地域住民が主体的に地域活動、交流活動を行う場としての活用を促進する。

## ■学習活動の推進

### ○現代的な課題に対応する学習機会の充実 (情報化社会への対応)

高度通信社会の到来により、インターネット等の情報通信ネットワークは、学習、就労、医療、買い物など、日常生活の様々な場面に活用され、生活の利便性を高めている。一方、近年では、コンピュータを通じた個人情報の流出など、情報化の進展による弊害も見られることから、住民一人一人が適切な情報技術を身に付けることができるよう情報教育の充実を図る。

### (少子高齢化社会への対応)

子供たちについては、体験学習活動の機会やボランティア活動などによる子供同士や大人たちとの交流機会の充実に努める。高齢者については、高齢者の体力や興味に応じた多様な学習プログラムを開発するとともに、他世代との交流など高齢者の生きがいを感じられるプログラムの充実に努める。

### ○ライフステージに応じた学習機会の提供

#### (高齢者向け、学生向け、子供向けなどの学習プログラムの充実)

公民館等において、生涯学習支援ボランティアなどと協力し、各世代のニーズに応じた生涯学習プログラムの開発、実施に取り組む。

#### (家庭の教育力の向上)

乳幼児や小・中学生の子供を保護者が家庭教育や子育てについて、気軽に相談、交流ができるよう、子育て支援センターなどの育児相談窓口機能を拡充する。保護者の育児や家庭教育に関する不安を緩和し、家庭の役割の重要性について一層の啓発をするために、子供たちの発達段階に応じて適切に対応するための示唆を与えるような乳幼児教育や家庭教育を支援するための講座を開催する。特に「父親教室」の開催などにより、両親が協力して家庭教育に取り組めるよう支援する。

### ○体力づくり・健康づくりの推進

#### (ファミリースポーツ、地域スポーツの推進)

健康を増進するためのスポーツ・プログラムの充実と、スポーツボランティアの育成により、家族や地域の中まで気軽に楽しめるスポーツ活動を推進する。また、いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも気軽にスポーツ活動に取り組めるようスポーツイベントや講習会の企画・運営を通して、地域の特性や住民の体力に応じたスポーツ活動を促進する。

### ○人権教育の推進

#### (人権教育の充実、学校教育との連携)

学校、職場、地域、家庭などあらゆる場面で人権が尊重されるよう、指導者研修会や人権門談についての学習機会充実に努める。

## ②地域づくりの交流や視点からの環境整備

### ■地域に根ざした学習活動の推進

#### ○地域、学校、観光、企業が連携する学習活動の充実

地域の歴史・文化・自然を生かした様々な学習活動を充実するとともに、観光との連携や工場見学・体験等、企業との連携を図るなど新しい学習テーマを積極的に取り入れていくことにより、学習内容の魅力を高める。

#### ○他地域との交流を促進する学習活動の充実

公民館やスポーツ施設、生涯学習グループや地域の宿泊施設との連携を図り、自然体験や歴史文化

学習、スポーツイベント、スポーツ合宿の受け入れの充実等、他地域との交流を促進する活動を充実する。

## ■スポーツ交流の視点からの学習環境整備

### ○スポーツ情報の収集と発信

スポーツに対する選択肢を拡大させ、住民の多様なニーズに応えることができるように、地域スポーツに関するイベントや競技大会等、様々な情報の一元化を図り、ばれっと市民等への情報提供体制を整備する。

### ○スポーツ大会・イベントの支援

スポーツの振興を推進するため、各種のスポーツ大会やばれっと市民運動会などのイベントを開催する。また、多様化・高度化するスポーツ活動に対応するために、職員や施設管理者等が体育やスポーツの専門的知識が学べる機会を設け、住民に対する体育・スポーツ相談業務等を行う。さらに、必要に応じて、大会・イベント時に各競技分野の専門スタッフや競技支援ボランティア等を派遣する。

## ③地域文化、郷土理解の視点からの環境整備

### ■歴史資源の保護と活用

#### ○歴史資料の収集編纂と発掘出土品の公開展示

##### (歴史ガイド、歴史ボランティア、の育成)

郷土の歴史をばれっと市民に身近なものとするため、博物館等の施設で職員とともに、資料保存・研究・学習などの活動を行う歴史ボランティアや、観光客などに博物館等の施設や史跡等を案内する歴史ガイドを育成する。

##### (歴史博物館・文化センター等の整備)

既存施設のリニューアルなどにより、地域の文化や歴史を体系的に学ぶことができる高度な設備を兼ね備えた歴史博物館や文化センター等の施設を整備する。

#### ○国・県・市指定史跡・天然記念物の保存と活用

貴重な史跡や天然記念物については、周辺住民の理解と協力を得ながら保存、管理し、後世に伝えていくとともに、教材や資料を整備し、積極的に活用する。

### ■自然資源の保護

#### ○自然資源の保護

##### (学校、地域 NPO 団体等と連携した保護活動の推進)

郷土が誇る豊かな自然を守るため、市、町、学校、地域、NPO 団体等が連携し、保護活動を行う。

#### ○自然資源の活用

##### (季節を意識した自然学習プログラムの開発)

季節を意識した自然学習プログラムの開発に努める。

### ■民族芸能・伝統文化の保護と活用

#### ○伝統文化の保護と活用

地域に古くから伝わり、生活様式の激変の中で急速に失われようとしている生活文化の記録保存を図るとともに、体験学習の教材として積極的に活用する。

### ■地域文化の振興

## ○新たな地域文化の創造

### （市立美術館構想）

ばれっと市が所有する貴重な美術品を常設展示でき、市民の美術館活動の拠点となるような美術館の在り方を検討する。

## ○地域文化活動の振興

### （文化施設の充実）

住民のニーズに応じ、充実した文化活動が行えるよう設備の充実を図る。また、成果発表や交流活動を支援し、施設間の相互連携を図る。

## （3）生涯学習活動支援の在り方について

### ①人財育成の考え方

#### ■地域の教育力の向上

### ○学習団体・指導者の育成

多様な生涯学習ニーズに対応できる有能な指導者の確保や育成を図るとともに、学習団体への支援を積極的に行う。専門家や学識経験者の指導による質の高い学習を提供できるように指導者バンク等を整備し、地域の学習をリードする指導者の発掘や養成に取り組む。また、自然、環境、文化などの学習団体活動を積極的にサポートする。

## ○青少年の学校外活動の充実

青少年らが、地域社会の一員としての自覚を持ち、地域に対して積極的に貢献していく精神を養うため、ボランティア活動などへの参加を呼びかける。また、地域での奉仕活動や幼稚園や保育所等での保育活動等、高齢者や乳幼児との交流を考慮した活動の充実を図る。

#### ■ボランティアの育成

### ○生涯学習ボランティアの育成と支援

#### （生涯学習コーディネーターの育成）

生涯学習に関する相談に応じたり、講座の企画情報提供等を行ったりして、住民の学習活動をサポートする「生涯学習地域コーディネーター」を育成するための講座を開催する。この講座は、地域の生涯学習に意欲をもつ市民（住民）を対象とする。

#### （観光ボランティアガイドの育成）

観光客に地域の歴史・文化・自然などを紹介するボランティアガイドを育成する。テーマ毎にボランティアを募集し、講習会を開催する。

#### （図書ボランティアの育成）

図書の配架、分類、整理、リファレンスや子供たちへの読み聞かせを行う図書ボランティアを育成する。

#### （スポーツ指導者、スポーツボランティアの育成）

スポーツ活動の活性化については、地域のスポーツ団体のリーダーを対象とした講習化委実施や研修は検討により、質の高いスポーツ指導者を育成する。

### ②施設ネットワークの考え方

#### ■生涯学習の情報化推進

### ○情報ネットワークを活用した施設検索システムの導入検討

#### （生涯学習施設、交流施設、観光施設の横断学習プログラムの提供）

生涯学習コーディネーターと公民館等が協力し、自然、歴史、文化などの分野における生涯学習施

設、交流施設、観光施設の資源を活用する横断学習型のプログラムを検討する。

### （ぱれっと市域を超えた学習ネットワークの形成）

都市との交流や地域間交流の視点から、自然、歴史、文化などの学習プログラムについては、A市、B町など周辺市町との連携を図り、市域を超えた学習ネットワークを形成する。また、スポーツ活動等においても周辺市町との情報交換を定期的に行い、施設の有効活用やスポーツ交流の充実を図る。

## ■生涯学習情報の受発信機能の充実

### ○生涯学習情報の受発信機能充実による成果の発表、活動の場づくり

#### （公民館、スポーツ施設等のホームページ充実）

公民館等、主要な生涯学習施設のHPを作成し、生涯学習情報の受発信機能を強化するとともに、HPを学習成果発表の場として活用する。

#### （活動グループのネットワーク形成）

生涯学習活動を行うグループの派遣ネットワークをつくり、学校活動やイベントなどにおける活躍の場を増やす。

---

## ぱれっと市について

○総合計画や生涯学習推進計画から、ぱれっと市はどのような地域であると捉えますか？

※どれかが正解であるわけではありません。

※次のA、B、Cの捉え方については、研修当日に改めて説明しますので、事前課題の際には選択する必要はありません。

**A：少子高齢化が進む中山間地域**

**B：新しい住宅団地（ニュータウン）**

（地元出身の旧住民と、引っ越してきた新住民とが混在している地域）

**C：地域のつながりが希薄化する都市地域**